

資料配布場所

1. 国土交通記者会
2. 国土交通省建設専門紙記者会
3. 国土交通省交通運輸記者会
4. 筑波研究学園都市記者会

平成26年5月1日

国土交通省国土技術政策総合研究所
つくば市**通学児童の安心感が向上し、車両速度が低下するなど効果が確認されました****～二の宮小学校通学路の交通安全対策の社会実験結果～**

国総研とつくば市では、**つくば市立二の宮小学校の通学路**において、つくば中央警察署の協力の下、交通安全対策の社会実験を実施しました。その結果、**通学児童の安心感の向上、対策実施箇所における車両の走行速度の低下、ドライバーの安全運転意識の向上**などが確認されました。

この実験結果を受け、**つくば市は、交通安全対策を実施**しました。

1. 実験の概要

期間：平成25年10月28日(月)～平成25年12月13日(金)(現地における実験期間)

場所：つくば市立二の宮小学校区の一部の区間(1.3km)(別紙参照)

主な実験内容・歩道未設置区間での路側帯(歩く部分)の拡幅、カラー化

- ・車の速度を抑制するため、路面を盛り上げた部分(ハンプ)の設置、車の通行部分を屈曲させたシケインの設置
- ・注意喚起のための車道の狭さく、「通学路」の路面表示

2. 実験結果(別紙参照)

通学児童の安心感の向上、対策実施箇所における車両の走行速度の低下、ドライバーの安全運転意識の向上などが確認されました。

3. 実験結果を基にした対策の実施

つくば市は、実験結果を踏まえ、路側帯の拡幅・カラー化、横断帯の設置、シケイン、ハンプの設置、交差点の狭さくと注意喚起の表示等の対策を実施しました。

問い合わせ先

(社会実験について)

国土交通省 国土技術政策総合研究所 道路交通研究部 道路研究室 大橋・梅原

TEL：029-864-4539 FAX：029-864-3784

(つくば市の対策の実施について)

つくば市環境生活部 危機管理課 交通防犯係 倉持

TEL：029-883-1111(代表)

社会実験を行った区間

社会実験は、つくば市松野木地内～つくば市小野川地内までの約 1.3 kmの区間で行いました。



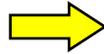
この背景地図等データは、国土地理院の電子国土 Web システムから提供されたものである。

1. 歩道未設置区間での路側帯(歩く部分)の拡幅、カラー化

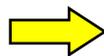
道幅が狭く人と車が混在する空間における歩行者の安全確保のため、**白線を移動させて歩く部分を広くしたり、歩く部分を緑色に着色したりする等の対策を実施しました。**



路側帯の拡幅



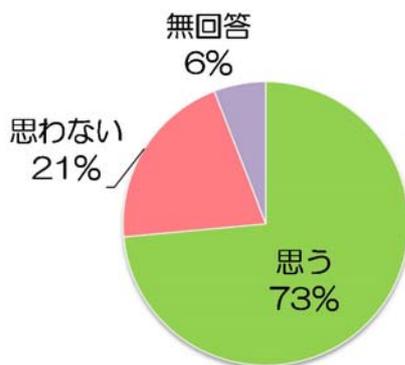
路側帯のカラー化



通学児童及び地域の皆様を対象としたアンケートの結果では、路側帯のカラー化で、**通学児童の73%、地域の皆様の35%が安心して歩けるようになったと回答しました。**

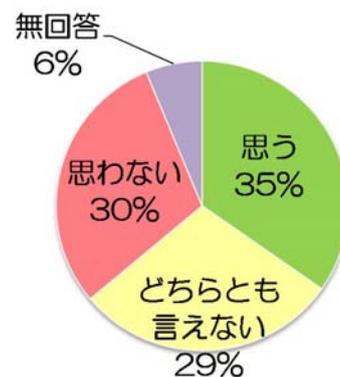
質問：路側帯のカラー化を行いました、歩行者が安心して歩けるようになったと思いますか。

通学児童の回答



(当該区間を通学路とする5・6年生を対象)
回答数：34

地域住民の回答



(周辺世帯を対象)
回答数：144

2. 車の速度が高い区間での速度抑制施設の設置

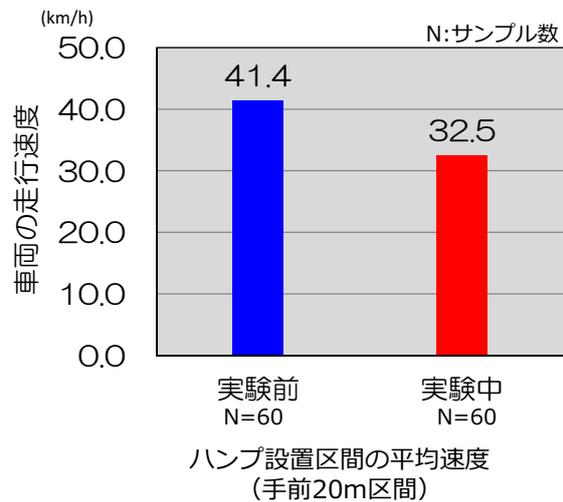
直線的で車両の速度が他と比べ高い区間で、車両の速度を抑制するための対策を実施しました。その結果、**ハンプ**設置区間では、約9km/hの**速度低下**が確認されました。また、**シケイン**設置区間では、車両同士の**すれ違いの際の減速**が確認されました。



路面を盛り上げたハンプの設置

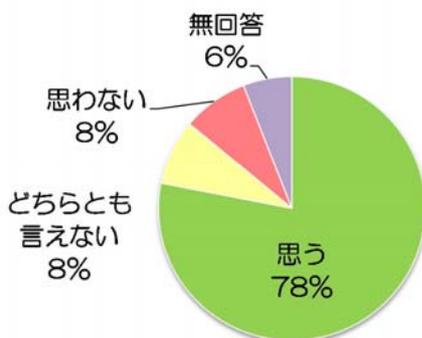


車の通行部分を屈曲させたシケインの設置



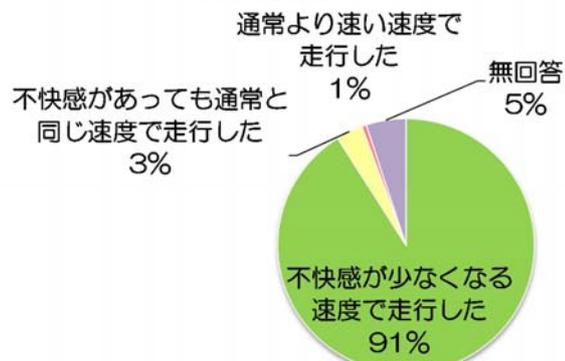
ドライバーを対象とした住民アンケート結果では、シケイン設置により、78%のドライバーが**気を付けて運転するようになった**と回答しました。ハンプ設置では、91%のドライバーが**不快感が少なくなる速度で走行した**と回答しました。

質問：シケインの設置を行いました、気を付けて走るようになったと思いますか



回答数：237

質問：ハンプの設置を行いました、2回目以降はどのように走行されましたか



回答数：179

なお、シケインにおいて歩く部分の幅が不十分であるとの意見があったこと、ハンプにおいて衝撃が大きすぎると感じたとの意見があったこと等を踏まえ、実際の対策ではこれらの形状が見直されました。

3. 通過車両流入部での車道の狭さく、「通学路」の路面表示

地域外からの通り抜け車両対策として、通過車両流入部において、**狭さくの設置**と、路面に**注意喚起の表示**を行いました。

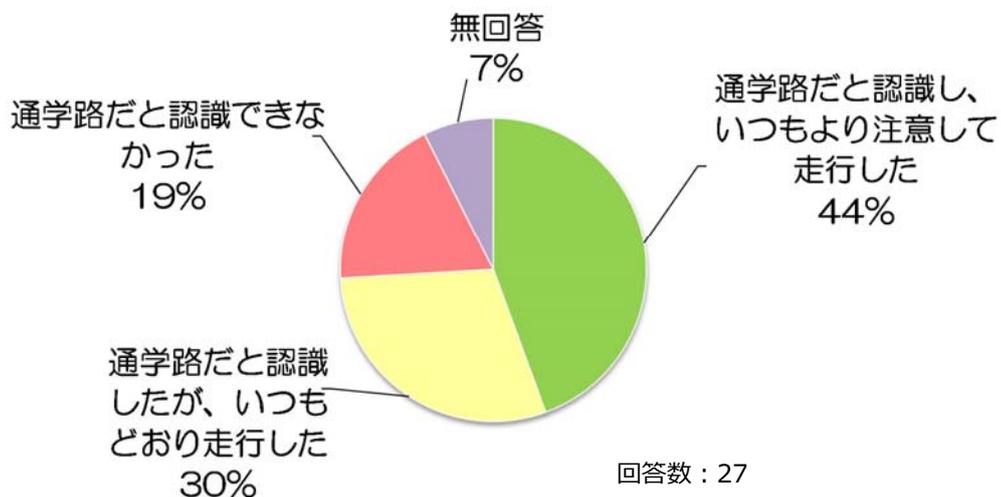


狭さく、
路面表示
の設置

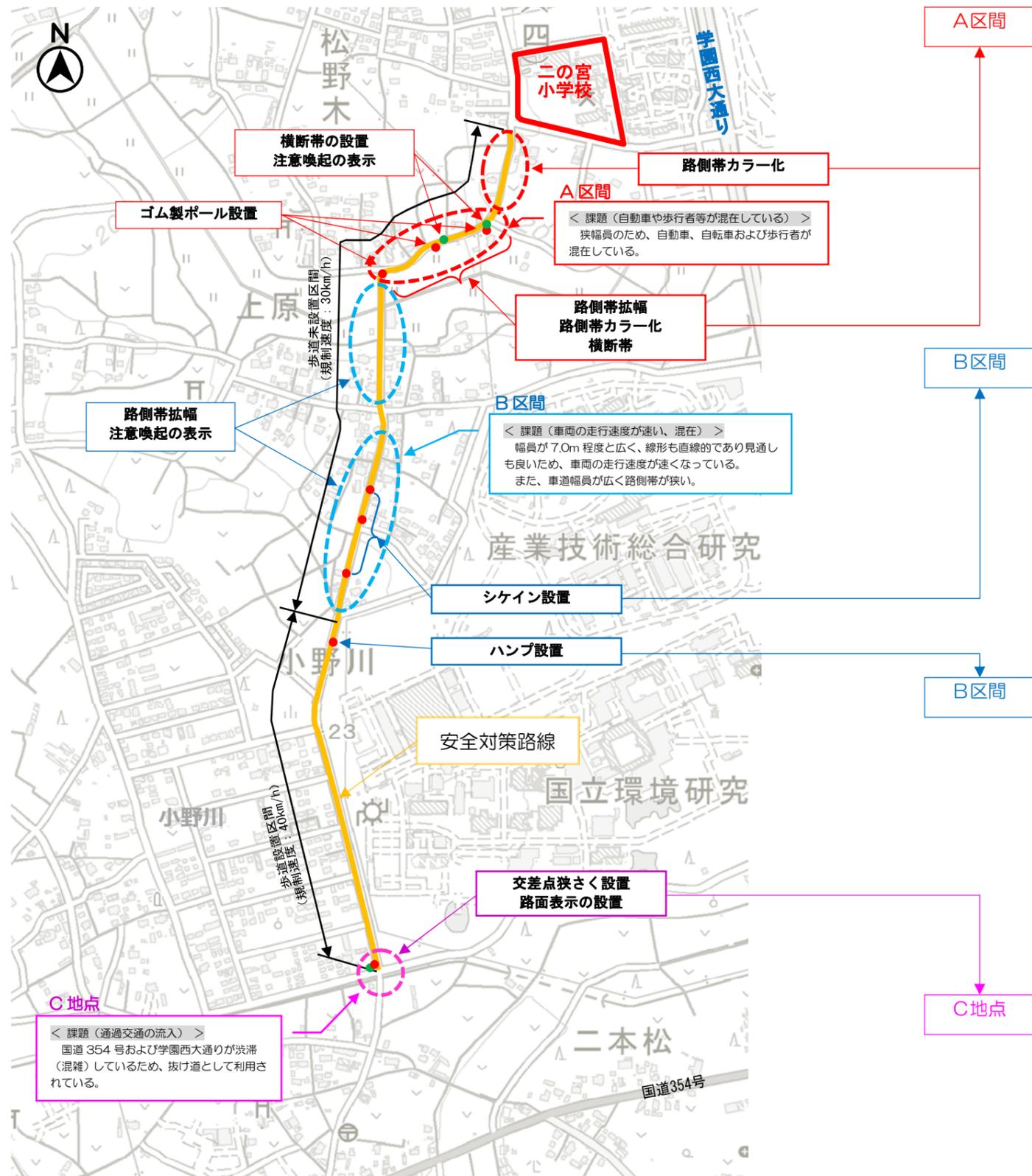


当該区間走行中のドライバーを対象としたアンケート結果では、44%のドライバーが、「**通学路だと認識し、いつもより注意して走行した**」と回答しました。

質問：（流入部の狭さく、路面表示を行いました）
設置した路面表示を見てどう思いましたか。



安全施設の概要図



この地図は、国土地理院発行の地理院地図（フラッシュ版）を使用したものである。



シケインは、社会実験の結果を受け、路側帯（歩く部分）の最低幅を70cmから100cmに見直した。



ハンブは、社会実験の結果を受け、高さ10cmで1基の設置から、高さ5cmで2基の設置に見直した。

